

学年だより

3年

3学年の成長

3学年主任 渡部 一博
卒業を迎える年のスタートはコロナ休業となりました。最後の学校行事、進路活動、課題研究、部活動や大会が出来なくなりました。そんな状況でも諦めずに取り組んでいました。規模縮小でもできた体育祭や文化祭。今できることをやり切った進路や課題研究。3学年の誇りと成長をしっかりと見せてもらえました。



マナー講座

3年生の球技大会

2年

2学年主任 緒形 忠大

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、修学旅行の実施が困難になる等、数々の貴重な経験を奪われました。そこで、感染症対策を徹底し、修学旅行を実施したいと計画し、多くの保護者、生徒の同意を得、3月末北陸方面にて実施します。少しくとも多くの経験と思い出作り、これからの進路実現に向けての活力になればと思います。



合同企業説明会(アオーレ)

販売実習

PTA対象進路説明会

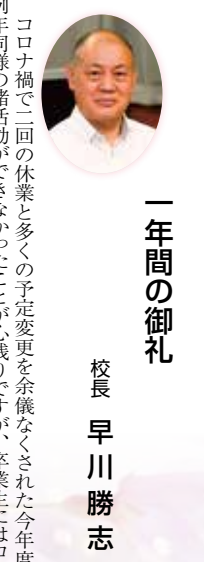
部活動・各種大会結果報告

サッカー部 秋中地区大会 1位 1回戦 対 小千谷高校(2×3) ハズレ バスケット部 第7回全国高等学校選手権大会 ツバメカップ選手権 10月17日 平塚 5-0 10月17日 平塚 5-0	バスケット部 1回戦 長岡工業 62-93 2回戦 新潟工業 62-93 3回戦 新潟工業 62-93 4回戦 新潟工業 62-93 5回戦 新潟工業 62-93 6回戦 新潟工業 62-93 7回戦 新潟工業 62-93 8回戦 新潟工業 62-93 9回戦 新潟工業 62-93 10回戦 新潟工業 62-93	バドミントン部 秋中地区大会選手権大会(6/29) 4位 長岡市市民体育館長岡南高等学校体育館 ダブルス 1回戦 北村 心輝 滝澤松一朗 2回戦 北村 心輝 滝澤松一朗 3回戦 北村 心輝 滝澤松一朗 4回戦 北村 心輝 滝澤松一朗	卓球部 秋中地区大会(11/3-4) シングルス ベスト16 神保 永音	書道部 令和2年度新潟県高等学校書道大会 総合文芸部第34回新潟県展 美術部第34回新潟県展 小林立 心美 小林立 心美 小林立 心美	写真部 令和2年度新潟県高等学校写真選手権大会 【写真甲子団2020】 津波津波 長岡南高等学校 津波津波 長岡南高等学校 津波津波 長岡南高等学校 津波津波 長岡南高等学校	美術部 令和2年度新潟県高等学校美術大会 【秋中地区】の部 美術部第34回新潟県展 美術部第34回新潟県展 美術部第34回新潟県展	新聞部 令和2年度新潟県高等学校新聞文化祭 新潟県新聞協会 新潟県新聞協会 新潟県新聞協会
---	--	--	---	--	--	---	--

大河信濃

第109号

発行日 令和3年3月
発行 新潟県立長岡農業高等学校 PTA広報委員会
〒940-1198 長岡市曲新町3-13-1 TEL(0258)37-2266
(題字:2年 棚村 心美)



日頃よりPTA活動のご理解と協力を頂き、誠にありがとうございます。今年度のPTA活動は学校行事と同様、中止せざるを得ない行事もあり、参加を楽しみにしていただいていた保護者の方々に大変申し訳ない思いです。また、学校関係者の皆様には多大なご尽力をいただき、感染症対策を万全に行なった状況下で長農祭、後期研修会、役員研修会を開催できたことにも多大なる感謝を申し上げます。この度、卒業を迎える三年生においては、不遇の一年だったと思っております。本来であれば、最終学年として一丸となり学校行事を盛り上げるべく、例年にならぬ状況下の中で多くの我慢を強い、限られた状況の中で対応し乗り越えてきたことでしょうか。進路・就職と進路は様々ですが、この三年間の高校生活で得たものは、必ず今後の社会生活に活かされる事と思います。保護者の方からよく「若い頃に戻れるなら長岡農業高校に入学したい」という声をお聞きし、私も同感しております。それだけに子どもたちが学ぶ意欲を持ち、日々学ぶ姿が眩しうか、羨ましいと感じるからではないでしょうか。

「土に触れて農業を学ぶ」とこの学校の志望し、家庭でも学習内容や実習の様子などを日々楽しく報告していただいていた、誠にありがとうございます。私にしてみれば、この出会いがかけがえのない宝物となりました。最後に、今の難局が過ぎ穏やかな生活に戻ってきた時には、今以上に活気あるPTA活動が行えるよう祈念するともに、長岡農業高校の更なる活躍を期待いたします。

①「コロナ流行の中、修学旅行実施は賛成できません。卒業後でも旅行が行けます。」
 ↓沖縄旅行は中止し、年度末に北陸方面一泊一日へ変更しました。文科省も対策徹底の上で実施と通知しており、二年生の大多数の保護者も同意の下、安全に配慮して実施します。御了解願います。

②「大雪時の対応が改善されたい。バス通学生も降雪中はバス停から自宅までが交通困難です。JR同様くまを認めてほしい。」
 ↓個別の状況で通学困難の程度は異なると思いますが、周辺各校もバス通学生が可能な限り目安は、当校HPに掲載しております。

③「コロナ対策で換気のための教室が寒く授業が集中できない。担任によって設定温度の指が違ったり、おかしなやり方ではないですか?」
 ↓換気のため、自席の場所次第で、かなり寒い場合があります。承認しています。生徒には、防寒に留意し厚手の下着着用を指示しています。設定温度は、8℃〜10℃として、移動教室への場合は1℃下げておく、となつていきますので、教室により指示温度が異なることとはあります。気温も日に、教室ごとに異なります。教員が寒い場合、コート等を授業中着用している場合には授業担当として申し出ていただきます。

④「部活動で秋大会出場と言われたが、コロナ対策を考えると参加はできません。また寒波時は生徒も体調が悪く部活動休止してしまいました。」
 ↓部活動は随時最新の保健体育課通知に準拠して活動していただきます。感染予防は大前提ですが、大切な教育活動ですので、通知の基準にそって活動させていきたいと思います。なお、大雪の際は、近隣生徒への御迷惑を認める場合もありますが、無論強制はしていませんので御了解ください。

この他にも、多くの御意見御要望をいただきました。保護者懇談等の機会に是非ご声掛けください。お願いいたします。

PTA後期研修



3年3組P 齊藤 正一

これまでPTAの行事に参加したことがありませんでした。子ども達の様子を想像しながら楽しい時間を過ごすことができました。学ぶことは決して詰め込むことではないと思います。間もなく卒業しますが、(できれば)長農での時間が子どものこれからの人生のよき1ページとなることと思います。ありがとうございました。

2年3組P 相澤久美子



1年2組P 野上 洋子

初めてのそば打ち体験で「うまくできるだろうか...」と緊張と不安もありましたが、研修が始まるとそんな心配はとんでいきました。顔なじみの保護者の方もたくさんおられ、楽しく笑いながらそば粉をごねたり、講師の島田先生が丁寧に教えてくださったおかげで無事におそばが完成しました。「見た目は太くうどんみたいになってしまったけど」と出した所「味はおいしいよ」と息子。完食でした。

PTA役員研修

3年4組P 小川 郁子
本格的なケーキ作りは初めてでしたが、分かりやすく段取りや指導をして頂き、上手く作ることができました。今回、親子での参加となり子どもたちのデモンストレーションでの華やかな手つきには思わず目を奪われました。普段見ることのできない実習室での体験は、私達保護者にとっても貴重なものだったことは言うまでもありません。ありがとうございました。

●編集後記
今年度「新しい生活様式」での様子をお伝えしてきた大河信濃ですが、全ての事が不完全に感じた様に映りましたが、各号を発行させて頂くにあたり、とても好評で見応えのあるものに仕上がっているとのお言葉を頂きありがとうございました。発行にご協力頂きました皆様、本当に有難うございました。(PTA広報委員長 中村真紀子)

●写真提供者
写真かたぎり様
写真部
各コース

●広報委員(敬称略)
中村真紀子/佐藤 明美/加藤真智子
小川 郁子/新保 尚美/相澤久美子
稲葉 公美/小澤 杏奈/西澤 妙子
内山真由美/高橋しげり/高林 直美



長岡農業高校HP

作物生産コース



今年度の研究は、7年目「マガモ栽培集大成」からマガモ米のブランディングへ。3年目の「米醤油のための米栽培」は米醤油とその加工品づくりに。「米麴に適した米栽培」から甘酒加工と甘酒だんご制作。初挑戦の「酒粕で栽培する五百万石」から日本酒を。コロナ禍でも生徒達はやり切りました。



青果生産コース



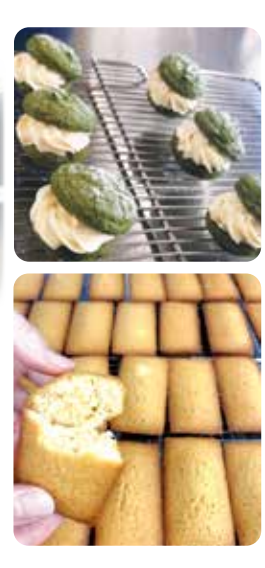
3. 令和2年度の研究
専攻別に、果樹や野菜の栽培方法の改善、収穫後の処理や販売方法の工夫、新しい作目への挑戦など、多彩な研究を行ってきました。今年度は、春の休校によって予定通りに研究を始められなかったため、栽培や実験の計画を変えたり、少ない時間をやりくりしたりして工夫しました。



食品加工コース



食品科学科課題研究の食品製造専攻では、様々な製品開発に取り組んでいます。今年度は、コロナ禍で校外での販売する機会がなくなり、残念ながら規模縮小の上で開催された長農祭では、研究・試作を重ねてきた菓子を製造し、全ての製品が完売しました。



動物科学コース



動物科学コースは「肉用牛」「豚」「ニワトリ」の3班に分かれて課題研究に取り組んでいます。今年度、肉用牛班は「子牛の継続的な運動と授乳期間の延長による成育の変化」、豚班は「ハーブ、サツマイモツルの給餌による美味しい豚肉の生産」、ニワトリ班は「ハーブ給餌による鶏肉の食味向上」等に取り組めました。



栄養化学コース



「ものづくりのための科学」を合い言葉に、おからなどの未利用資源の有効利用、乳酸菌の利用、タンパク質の効率的摂取方法、醤油麹の新しい利用方法、天然酵母の利用などの研究に取り組めました。タンパク質の効率的摂取方法の研究（研究題目：元気100倍！プロテインパー～効率よいタンパク質摂取法の研究～）では、本年度の新潟県学校農業クラブプロジェクト発表会（分野Ⅱ）において最優秀賞を受賞しました。

園芸科学コース



草花専攻では栽培した花を利用し、着色した花や香りを生かしたアクセサリー製作や、堆肥の内容を変えることによる生育比較、花の人工的な匂い付けなどの研究を行ってきました。いずれも花の時期を逃さず研究することが大切であると考えさせられました。
バイオテック専攻では、4つ葉のクローバー作出、キノコやサクラの培養、インビトロブーケの作成などの研究に取り組めました。コロナ禍での休校等もありましたが、学年末考査後まもとの作業に熱心に取り組んでいました。失敗や成果を含め、後輩の参考になってほしいです。

生活デザインコース



今年度生活デザインコースは、11のテーマで課題研究に取り組めました。主なものとして、野菜を活用するテーマとして、「野菜を使ったスイーツ作り」「ナスジャムとトマトジャムの製造」「カボチャの種の利用」、草花の活用として、「草木染め」、「UVライトを利用した花の加工・保存」「ドライフラワーの活用」などです。
3月からの臨時休校によって、播種からスタートする予定だったグループは計画通りにスタートできなかったものの、研究の成果である作品は長農祭で販売し、ほぼ完売することができました。植物を活用し、生活に取り入れる成果を得ることができました。

地域デザインコース



今年度は、「中庭の設計」「中庭の景観」「廃材の利用」「竹材の利用」「木材加工」「歩道の研究」「防災公園計画」「芝生育成」「グリーンカーテン」「庭園様式」の10グループに分かれて取り組めました。校外に出て歩道についての現地調査や中庭を一から測量して設計製図を行うなどは今までにない取り組みでした。

長農祭

10月31日



長農祭を振り返って
長農祭実行委員長 渡邊 翔太
今年度は新型コロナウイルス対策のため、長農祭が小規模開催されました。有志の人達や音楽部の発表、クラス企画がなくなり、とてもさみしく感じました。来年こそ、このコロナ禍が終息し、いつもの通りのにぎやかな長農祭ができることを願っています。



研究発表



販売



販売



販売

新生徒会長として
新生徒会長 樋口 広大
来年度の生徒会長になりました2年1組樋口広大です。今年度は新型コロナウイルスにより、私たちの生活は大きく変化しました。そこで、来年度は全校生徒の意見を聴き、生徒会活動に反映し楽しい高校生活にしていきたいです。至らない点が多くあるかと思いますが1年間宜しくお願いします。

洪志会役員より



令和3年度生徒会役員

激動の一年間
生徒会長 佐野月美夜
私が、生徒会長を務めさせていただいたこの一年間はたくさんの出来事がありました。新型コロナウイルスにより、行事全てに影響があり、小規模化や中止など、生徒の皆さんと充実した生徒会活動が出来なかったことに、会長として無念を感じます。しかし、このような状況下で模索し、工夫を重ね、行事に取り組んできました。今後とも予期せぬことが起こるかもしれませんが、この経験を生かし、乗り越えていきたいと思う一年でした。

食品科学科

発酵・醸造を取り入れた教育活動について
長岡市内には、酒蔵が16社、味噌醸造メーカーが11社、醤油醸造メーカーが6社、ワイン用ブドウ生産会社1社など、発酵醸造関係企業が多いです。本校では、このような地域特性を生かし発酵・醸造を学習活動に取り入れた授業を展開しています。食品科学科では、食品関連科目の横断的学習を目的に、吉乃川、とちお農園から協力を受け日本酒・ワインの試験製造に取り組んでいます。また、発展的な学習として、地元埴田屋地区の醤油醸造・味噌醸造メーカーや各企業が協賛しているスノーフード長岡、越のむらさき、味噌星六からご協力いただき新商品の研究開発を行いました。発酵・醸造を教育に取り入れることで、生徒は専門的な知識・技術を向上させるだけでなく、地域の食文化への関心が高まったように感じられました。



企業コラボ

作物生産コース

民間企業連携について
課題研究や生産物加工で企業から協力を頂いています。江口だんごは色々な品種の米をだんごに加工。醤油協業組合、山崎醸造は米醤油開発。エコライス新潟、加賀の井酒造は日本酒製造と販売。ミライ発酵本舗からマガモ米の販売。その他、山梨製菓所、越後製菓、松田卯之七商店、丸米製粉、大幸からも連携してもらいました。



進路

■進路指導部より
今年の三年生は新型コロナウイルスによる影響を受け、進路活動も例年とは異なるものとなりました。しかし、これまで積み重ねてきた進路意識を損なうことなく、それが懸念に取り組んで、自らの進路を決定しました。この特殊な状況下での経験を乗り越えた三年生は、進路先においても活躍してくれることと信じています。

さて、本年度の進路決定状況は表のとおりです。進学者数が増え、例年と比べて進学者数が若干増えました。進学においては、例年以上に「農業」を活かした進学者が増加し（農業大学校は昨年度の二七五倍、看護・医療系は昨年度の二七五倍、看護・医療系への進学者も増えた（昨年度の六倍、ことが特徴です。就職については、昨年度に比べて求人を探したり取り下げたりする企業が多く見られましたが、それでも民間就職一次応募の内定率が80%を超え、一月中旬ほとんどの生徒が内定をいただきました。また、公務員は自衛隊に二名内定をいただきました。いずれの進路決定におきましても、生徒を公私にわたって支えていただいた皆様方にお陰と感謝しております。

次はいよいよ二年生、そして一年生の番です。日々の授業や学校生活を大切にして、自己の進路と真剣に向き合ってください。

3年生進路決定状況（150名）

進学	就職							その他・未定者		
	四年生大学※	短期大学	専門学校	専門学校（看護）	専門学校（医療）	農業大学校	各種学校等			
	15	2	63	10	2	11	1	41	2	3

令和3年1月29日現在
※国立公立大学2名含む

1年

学年だより

コース選択
1学年主任 渡邊 進
コース選択が10月21日に決定し、28日から各コースに分かれての授業が行われています。コロナの影響で予定より約2週間遅くなりました。コース決定前（体験学習）では全8コースを4回ずつ学び、農業を幅広く学ぶ機会としました。一方コース決定後の授業では、クラスとは異なる新たな人間関係への「協調」、より深い専門的な学びへの「鍛錬」、そして状況に応じた「自律」の3つの学年目標での成長を期待したいと思います。

